



編集 武田 隆久  
発行人 武田 隆久  
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15  
一般社団法人 日本病院会 通信教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <http://www.jha-e.com/>  
受付時間 9:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)  
発行日 毎月 1 日  
定価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)  
郵便振替 00190-5-396045  
名義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

## 医学用語（臨床病名）と ICD 分類

松浦 はるみ

長崎大学病院 医事課 専門職員

診療情報管理Ⅳ（教科書）12 章、国際医療統計Ⅱの 288P に、「ICD は統計分類であり、医学用語集ではない」と明記してあるのは、皆さんもご存じであろう。医学用語は診断名や手技を学術的に個々に命名したものであり、ICD 分類は基準（ルール）に従ってグルーピングした分類名である。残念ながら、このことは実際の医療現場ではあまり理解されていない。

今から 20 年前、私は診療情報管理室を立ち上げながら通信教育で資格を得た。

ICD9 から 10 に改定されたばかりで、緑本を抱えながら、ICD 分類に取り組んでいた。医学用語と ICD 分類の違いや、コーディングが正しいのかさえ自信がなく、黒い小さなノートに医学用語を書き連ね、研修会に参加し、多くの先輩方に教えてもらった。診療録に書いてある「大腿骨頸部外側骨折」の ICD 分類に確信が持てず、仕事始めの式後、整形部長をつかまえて、たずねたのもその頃であった。すると先生は新しい手帳に大腿骨の図を書き、ページをちぎって渡してくれた。医学用語と ICD 分類の違いを明確に意識した瞬間だった。

時代は大きく変わり、大学病院で DPC の病名をチェックしている私の机上には、電子カルテ、ネット用のパソコンが並び、医学用語もすぐに ICD 分類に変換できる。「食道・胃接合部癌」を変換すると C15.8 とでる。ところが ICD のルールでは、「食道・胃接合部癌」は C16.0 に分類されるのだ。ICD 分類は、ただ単に医学用語を ICD 分類に変換すればよいわけではない。主治医が臨床と真摯に向き合い、診断した医学用語を、通り一遍ではなく、診療録や解剖図等をよく読み、理解することで、正確な ICD 分類にたどりつける。

黒いノートに書き込んだ医学用語を、消していくたびに、偉大な先輩や仲間が増えていった。そして、それは、ICD 分類に魅せられて、今もお追いかけ続けている私の原動力になっている。

